

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所

162-0805 東京都新宿区矢来町 65

電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175

発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「新しいカラフルな体の歩み」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

卒業を迎えられたみなさま、おめでとうございます。3月末で退職をされる教役者のみなさまの長年のお働きに感謝いたします。また4月から新しい歩みを始められるみなさまに、神さまの祝福と導きが豊かにありますようお祈りいたします。

今年4月1日から、北関東教区が「伝道教区」としての歩みを始められます。昨年10月の定期総会で、東・中・西日本の3つの宣教協働区・宣教協働委員会の設置と伝道教区制の導入を決議し、今年3月の臨時総会で北関東教区の教区会決議を受けて、「伝道教区」となることが承認されました。具体的には、東京教区の高橋主教さんが管理主教となり、合併や再編を見据えて、北海道・東北・北関東・東京教区からなる東日本宣教協働委員会が中心となり協力体制をとっていくこととなります。日本聖公会全体の宣教体制の立て直しを目標とした宣教協働の第一歩です。

大阪教区と京都教区も10年以上前から合併に向けての歩みを共にし、現在は「特別協働教区」として様々な合同の委員会運営を試み、今年1月からは教区報も一本化し、2024年4月の合併を目指しています。

この2つの動きは、決して教区が立ち行かなくなったからではなく、これまで長年にわたって議論され試みられてきた11教区制の在り方を変革し、協働関係を更に前進させるための決断です。これまで培ってきた教区のカラールや大切にしてきた伝統を受け止め合いながら、共に歩んでいこうとするものです。一つの教会や教区という枠組みを変えることは、安心や安定を一旦崩すことでもあります。新しい出会いや気づきが与えられ、豊かさが増し加わるチャンスでもあるはず。もともと私たち一人ひとり、一つひとつの教会は、多様なカラーを持っていて、その集まりがカラフルな教会・教区・管区、アングリカン・コミュニオンです。決して他人事とするのではなく、日本聖公会全体の課題であり、自分たちの教会・教区の課題として、各宣教協働委員会の働きを覚えて祈り、支え、捉え直していきたいと思えます。

今この時、災害や感染症、政情不安の中にある方々を覚え、一日も早い回復を祈りながら、主のご復活という希望に生かされていきましょう。

□会議・プログラム等予定

(2021年3月25日以降および
前回未掲載分)

3月

- 22日(月) 教役者給与タスクフォース会議 [Web]
- 23日(火) 祈祷書改正委員会 [Web]
- 25日(木) 正義と平和・原発問題プロジェクト会議 [Web]
- 25日(木) 収益事業委員会 [Web]
- 30日(火) 管区共通聖職試験委員会 [Web]
- 30日(火) 宣教協議会実行委員会 [Web]

4月

- 1日(木) 財政主査会 [管区事務所 +Web]
- 6日(火) 青年委員会 [Web]
- 7日(水) 会計監査 [管区事務所 +Web]
- 8日(木) 主事会議 [管区事務所 +Web]
- 13日(火) 常議員会 [管区事務所 +Web]
- 14日(水) 正義と平和・沖縄プロジェクト会議 [Web]
- 17日(土) ハラスメント防止・対策担当者会 [Web]
- 20日(火) 正義と平和委員会 [Web]
- 21日(水) 第66(臨時) 総会書記局会議 [管区事務所 +Web]
- 22日(木) 正義と平和・ジェンダープロジェクト会議 [管区事務所 +Web]
- 23日(金) 「難民と共に生きる」教会オンラインセミナー

5月

- 7日(金) 教役者給与タスクフォース会議 [Web]
- 14日(金) ウィリアムズ主教記念基金運営委員会
- 27日(木) ~ 28日(金) 新任「人権」研修会 [横浜]

<関係諸団体会議・他>

- 4月6日(火) NCC 役員会・常議員会 [Web]
- 15日(木) 「同宗連」結成40周年記念式典 [京都]
- 16日(金) 「同宗連」総会 [京都]

† 4月2日(金) は受苦日のため、管区事務所の業務を休業いたします。よろしくお願いいたします。

※ しばらくの間、就業時間の短縮と隔日出勤(平日 月・水・金は10:00-16:30 出勤、火・木は在宅勤務)。在宅勤務でもメールの送受信は可能です。

「キリストによって、体全体は、支えとなるすべての節々でつながり合わされ、一つに結び合わされて、それぞれの部分は分に応じて働いて、体を成長させ、愛の内に造り上げられてゆくのです。」
(エフェソ4:16 聖書協会共同訳)

(前頁より)

19日(月) キリスト者平和ネット運営委員会 [Web]

22日(木) 日本キリスト教連合会総会 [Web]

5月17日(月) 部キ連総会 [大阪+Web]

公 示

日本聖公会第66(臨時)総会決議第3号により、下記の通り管理主教を委嘱いたします。

救主降生 2021年3月9日
日本聖公会 首座主教
主教 ルカ 武藤謙一 ㊞

記

日本聖公会法規第10条の2第2項により、2021年4月1日付で、日本聖公会東京教区主教フランシスコ・ザビエル高橋宏幸師に、日本聖公会北関東教区の管理主教を委嘱する。

以上

□常議員会

第65(定期)総会期第4回 2021年2月19日(金)

<主な報告・協議>

- ① 第66(臨時)総会に関して、日程や議案を確認した。
- ② 北関東教区基本財産処分(聖愛幼稚園新園舎建築に伴うさいたま市への土地の一部寄附)に関して、北関東教区からの承認要請を受けて協議し、承認した。
- ③ 管区事務所テレワーク勤務規定(テレワーク助成金申請に必須)に関して、承認した。
- ④ 聖公会センターのエレベーターの改修に関して、資金計画や相見積の提出を得て再協議することとした。

⑤ 2020年度余剰金に関して、各教区からの分担金Iの1カ月分を「コロナ禍対策特別協力金」として会計処理し、送金することを承認した。長期的な視野も考えていくべきではないか、などの意見が交わされた。

⑥ 教役者給与支援システムに関して、2021年度の基準教区を2020年度と同様に現行の下から3番目の教区の給与と併せることで承認し、引き続き協議を重ねていくこととした。

次回以降の会議:4月13日(火)、7月6日(火)

□神学校

聖公会神学院

・2021年度入学礼拝 2021年4月6日(火) 14時～ 聖公会神学院諸聖徒礼拝堂 司式:校長 司祭 中村邦介 説教:理事長・首座主教 武藤謙一(九州教区)

<新入生> セバスチャン染谷孝章(横浜教区)、パウロ中山泰男(九州教区)

<信徒の奉仕・召命コース> ルシア小河佳子(北海道教区)

ウイリアムス神学館

・入学礼拝 2021年4月7日(水) 11時～ 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 司式:主教 ステパノ高地敬(京都教区主教) 説教:司祭 ヨハネ黒田裕(ウイリアムス神学館 館長)

入学予定者(本科生) クララ小野恭子(京都教区)、エステル平良子(京都教区)

日本聖公会第66（臨時）総会 を開催 2021/3/6

【日本聖公会第66（臨時）総会決議事項】

可決議案

- ・決議第1号（第1号議案）総会の議事運営に関する件
- ・決議第2号（第2号議案）日本聖公会法規の一部を改正する件
- ・決議第3号（第3号議案）宗教法人日本聖公会北関東教区が「伝道教区」となることを承認する件
- ・決議第4号（第1号動議）謝意表明の件（牛込聖公会聖バルナバ教会、各教区事務所、補助書記、管区事務所）

第66（臨時）総会・寸描

管区事務所総務主事 金子登美江

コロナウイルスの収束が望めず、昨年10月に行なわれた定期総会に引き続き今回もオンラインでの開催となった。議場も傍聴者用映像も滞りなく配信され、無事に閉会に至り感謝である。補助書記を含む各教区事務所・教務所における皆さまのお働きと、準備に心砕かれた書記局にお礼申し上げたい。

各所にて13時より開会聖餐式がささげられ、全国12会場より主教議員11名、信徒・聖職代議員44名がオンライン会議室に参集、点呼から始まり議事へと進み、16時10分前に武藤総会議長の閉会祈祷を以って幕を閉じた。今回決議された議案の主だったものは第2号議案「日本聖公会法規の一部を改正する件」と第3号議案「宗教法人日本聖公会北関東教区が『伝道教区』となることを承認する件」である。

第2号議案に関し法憲法規委員長の上原信幸司祭（神戸教区聖職代議員）より、「第65（定

期）総会において伝道教区に関する法規（128条の2、128条の3）改正案が主教会より提出され可決したが、その後、伝道教区の管理主教について明確にするようにと再試問を受けた。『10条の2』として、『当該教区の教区主教は退任する』『宣教協働区内の教区主教の一人に新たな伝道教区の管理を委嘱しなければならない』を、第15条第2項には、10条の2により『退任した教区主教は、退任の後、司祭の職務を行なうことができる』を追記することを答申した。」との説明を受けた。議案は主教会より提出され、可決した。

第3号議案は2020年11月23日に北関東教区で行なわれた第87回（定期）教区会において「伝道教区」となることが決議され、法規に則り日本聖公会総会へ承認を求めるものである。北関東教区主教の広田勝一主教および常置員長の矢萩栄司司祭より、「1教区として維持できる状況であるのに何故今、伝道教区を目指すのかという声も聞こえるが、伝道教区への移行は、当教区の都合ではなく日本聖公会の将来を見据えての主教会としての決断を受けて、敢えて移行するものである。様々なQ&Aを作成し、丁寧な説明を続け、教区会においては大多数の賛成を得て可決した。」との説明を受けた。

説明を受け代議員からは、

- ・5年後の合併を見据えての教区会決議だと思うが、5年で準備は間に合うのであろうか。
- ・伝道教区になることについての反対意見として具体的にどんな意見があったのか。

などの質疑が寄せられ、それに対し、「他教区との合併の働きは約40年前からあり、全く新しい話ではない。東日本宣教協働区の中にある動きをかなり早い段階で進めていきたい。反対というよりも、教区主教不在に対する不安が届いた。 sacramentalな部分以外の教区行政に関わることは主教補佐が担い、教区主教がおられないことを補助してくことを信徒の方たちに説明し、納得していただくということに努めてきた。」との応答を受けた。他に、様々な質疑が行なわれたが、その語られる応答の言葉から、北関東

教区の並々ならぬ努力と決意が伝わり、説得力をもって決議に繋がったように思う。議案は15分の休憩を挟み、約1時間の審議を経て可決された。今後の日本聖公会における大きな一歩となる決議であった。

全ての審議終了後に神戸教区会場から、フィリピン聖公会信徒レア・メイ・エステバン・ドッキョゲンさんが謝辞を述べられた。レアさんの姉、マイラ・E・ドッキョゲンさんは介護士候補生として日本で研修を始めたが、通勤中に事故に遭い昏睡状態となられた。看護のために来日なさったご家族の支援を神戸教区報『神のおと

ずれ2月号』で募ったところ、全国より献金が寄せられたことへの謝辞であった。

伝道教区承認の審議に際し多くの議員・代議員より多岐に渡る質疑・意見がなされ、日本聖公会の将来を我が事として捉えられている様子が見て取れた。また、ドッキョゲンさんご家族の困難に寄り添い祈る姿からも、聖公会は一つの家族であるということを改めて感じた総会であった。私たちに与えられた豊かな恵みに益々感謝を覚える次第である。これからも主の導きを求め、歩み続けたい。

《人事》

東北

司祭 テモテ遠藤洋介	2021年4月1日付	八戸聖ルカ教会副牧師に任命する。 盛岡聖公会ならびに大館聖パウロ教会協働を命じる。
主教 ヨハネ佐藤忠男(退)	2021年4月1日付	司祭フランシス長谷川清純のもとで、青森聖アンデレ教会および弘前昇天教会において礼拝協力を委嘱する。また司祭ステパノ越山哲也のもとで、大館聖パウロ教会において礼拝協力を委嘱する。(任期1年)
主教 ヨハネ加藤博道(退)	2021年4月1日付	司祭ヨハネ八木正言のもとで、仙台基督教会(2伝道所を含む)において礼拝協力を委嘱する。また、司祭ドミニコ李贊熙のもとで、仙台聖フランシス教会において礼拝協力を委嘱する。(任期1年)

<信徒奉事者認可>

2021年2月18日付(任期1年)

(米沢聖ヨハネ教会) ヨハネ小貫晃義、ヨハネ鍛冶迪雄

北関東

司祭 パウロ藤井文宏	2021年3月31日付 2021年4月1日付	日立聖アンデレ教会牧師の任を解く。 水戸聖ステパノ教会牧師および日立聖アンデレ教会管理牧師に任命する。
司祭 ルカ平岡康弘	2021年3月31日付 2021年4月1日付	前橋聖マッテア教会副牧師の任を解く。 小山祈りの家勤務(定住) および高崎聖オーガスチン教会協働司祭に任命する。
司祭 マルコ福田弘二	2021年3月31日付	高崎聖オーガスチン教会副牧師および新町聖

		マルコ教会協働司祭の任を解く。
	2021年4月1日付	前橋聖マッテア教会牧師および新町聖マルコ教会管理牧師に任命する。
司祭 ガブリエル西海雅彦	2021年3月31日付	熊谷聖パウロ教会牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	立教学院へ出向を命じる。
司祭 ダビデ斎藤 徹	2021年3月31日付	熊谷聖パウロ教会管理牧師に任命する。
	2021年4月1日付	志木聖母教会牧師および浦和諸聖徒教会副牧師の任を解く。
司祭 パウロ鈴木伸明	2021年3月31日付	浦和諸聖徒教会牧師、志木聖母教会および土浦聖バルナバ教会管理牧師に任命する。
	2021年4月1日付	東松山聖ルカ教会協働司祭の任を解く。
司祭 パウロ矢萩栄司	2021年4月1日付	東松山聖ルカ教会および毛呂山聖霊教会管理牧師に任命する。
		主教補佐に任命する。ただし、第88回臨時教区会決議により任期5年。
司祭 ミカエル浅見卓司	2021年3月31日付	栃木聖アルバン教会、榛名聖公会、高崎聖オーガスチン教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨハネ小野寺 達	2021年3月31日付	定年により退職とする。
		主教座聖堂付きの任を解く。
司祭 ヨハネ小野寺 達(退)	2021年3月31日付	定年により退職とする。
	2021年4月1日付	水戸聖ステパノ教会牧師および土浦聖バルナバ教会管理牧師の任を解く。
主教 ゼルバベル広田勝一	2021年4月1日付	東松山聖ルカ教会嘱託勤務(定住)を委嘱する。(委嘱期間1年)
	2021年3月31日付	定年により退職とする。
主教 ゼルバベル広田勝一(退)	2021年3月31日付	浦和諸聖徒教会、栃木聖アルバン教会、前橋聖マッテア教会、新町聖マルコ教会、高崎聖オーガスチン教会、榛名聖公会、東松山聖ルカ教会、毛呂山聖霊教会管理牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	志木聖母教会嘱託勤務(定住)を委嘱する。(委嘱期間1年)
司祭 サムエル興石 勇(退)	2021年4月1日付	榛名聖公会嘱託勤務(協働司祭)を委嘱する。(委嘱期間1年)
執事 テモテ鈴木育三	2021年4月1日付	榛名聖公会嘱託勤務を委嘱する。(委嘱期間1年)
司祭 アンデレ斎藤英樹(退)	2021年4月1日付	教区内諸教会での嘱託勤務を委嘱する。(委嘱期間1年)
司祭 ヤコブ八戸 功(退)	2021年4月1日付	教区内諸教会での嘱託勤務を委嘱する。(委嘱期間1年)
伝道師 アンブローズ久保田 智(退)		
	2021年4月1日付	日光真光教会嘱託勤務を委嘱する。(委嘱期間1年)

東京

聖職候補生 セシリア下条知加子

2020年12月19日 公会の執事に按手される。

横浜

司祭 マルコ河崎 望(退) 2021年4月1日付 主教イグナシオ入江修管理のもとで横浜聖クリ
ストファー教会において囑託司祭として勤務す
ることを委嘱する。(任期1年)

司祭 ヤコブ三原一男(退) 2021年4月1日付 主教イグナシオ入江修管理のもとで松戸聖パウ
ロ教会において囑託司祭として勤務することを
委嘱する。(任期1年)

司祭 ステパノ岡野保信(退) 2021年4月1日付 主教イグナシオ入江修時管理のもとで茂原昇天
教会において囑託司祭として勤務することを委
嘱する。(任期1年)

執事 ヨナ眞栄田 肇 2021年4月1日付 司祭バルナバ田澤利之のもとで福田聖公会に
おいて囑託執事として勤務することを委嘱す
る。(任期1年)

<信徒奉事者認可>

2021年4月14日付(任期1年)

(川崎聖パウロ教会) マツテヤ田島利男

京都

司祭 アグネス三浦恵子 2021年3月31日付 定年により退職とする。

司祭 サムエル門脇光禪 2021年2月23日付 桑名エピファニー教会管理の委嘱を解く。

司祭 ヤコブ岩田光正 2021年2月23日付 四日市聖アンデレ教会管理の委嘱を解く。

執事 アンデレ江渡由直 2021年2月23日 公会の司祭に按手される。

2021年2月23日付 桑名エピファニー教会および四日市聖アンデレ
教会牧師補の任を解く。

司祭 アンデレ江渡由直 2021年2月23日付 桑名エピファニー教会および四日市聖アンデレ
教会牧師に任命する。

2021年3月31日付 桑名エピファニー教会および四日市聖アンデレ
教会牧師の任を解く。
定年により退職とする。

2021年4月1日付 主教ステパノ高地敬のもとで、桑名エピファニー
教会および四日市聖アンデレ教会において囑
託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1
年)

司祭 プリスカ中尾貢三子 2021年2月27日付 富山聖マリア教会管理の委嘱を解く。

執事 ルカ柳原健之 2021年2月27日 公会の司祭に按手される。

2021年2月27日付 富山聖マリア教会牧師補の任を解く。

司祭 ルカ柳原健之 2021年2月27日付 富山聖マリア教会牧師に任命する。

2021年4月1日付 福井聖三一教会の管理を委嘱する。

司祭 ミカエル藤原健久 2021年3月31日付 福井聖三一教会管理の委嘱を解く。

<信徒奉事者認可・分餐奉仕許可>

2021年2月15日付(任期1年)

(聖アグネス教会) サムソン眞継 穰、サムエル藤村大輔

大阪

司祭 テモテ内田 望	2021年4月1日付	京都教区からの要請を受け、岸和田復活教会管理牧師に任命する。(任期1年)
司祭 ヨハネ古澤秀利	2021年4月1日付	学校法人トリストラム学園認定こども園プール幼稚園チャプレンに任命する。(月1回)
司祭 フランチェスコ成岡宏晃	2021年4月1日付	学校法人トリストラム学園認定こども園プール幼稚園チャプレンに任命する。(月1回)
	2021年4月1日付	聖公会生野センターチャプレンに任命する。
司祭 ペテロ金山将司	2021年4月1日付	川口基督教会勤務を命じる。(週2回)
	2021年4月1日付	プール学院チャプレン補に任命する。(週2回)
執事 ウィリアム ヒューム ユーワン		
	2021年3月31日付	プール学院チャプレン補の任を解く。
	2021年4月1日付	桃山学院教育大学チャプレン補に任命する。
主教 サムエル大西 修(退)	2021年4月1日付	中部教区からの要請を受け、中部教区内各教会において主日礼拝等への協力を許可する。(任期1年)
司祭 ヨハネ木村幸夫(退)	2021年4月1日付	主教アンデレ磯晴久のもと尼崎聖ステパノ教会囑託を委嘱する。(任期1年)
司祭 ダニエル山野上素充(退)	2021年4月1日付	司祭ジョイ千松清美のもと石橋聖トマス教会および庄内キリスト教会囑託を委嘱する。(任期1年)
司祭 ペテロ齊藤 壹(退)	2021年4月1日付	主教アンデレ磯晴久のもと大阪聖三一教会(定住) 囑託、および司祭ヨハネ古澤秀利のもと聖ガブリエル教会囑託、ならびに博愛社、聖バルナバ病院、こひつじ乳児保育園チャプレンを委嘱する。(任期1年)
司祭 ペテロ岩城 聰(退)	2021年4月1日付	司祭ジョイ千松清美のもと東豊中聖ミカエル教会囑託、および司祭テモテ内田望のもと堺聖テモテ教会囑託を委嘱する。(任期1年)
司祭 施洗者ヨハネ山本 眞(退)		
	2021年4月1日付	主教アンデレ磯晴久のもと富田林聖アグネス教会および尼崎聖ステパノ教会囑託、並びに司祭テモテ内田望のもと堺聖テモテ教会囑託を委嘱する。(任期1年)
司祭 ペテロ竹林徑一(退)	2021年4月1日付	司祭フランチェスコ成岡宏晃のもと大阪城南キリスト教会囑託、司祭ヨハネ古澤秀利のもと聖ガブリエル教会囑託、および司祭ジョイ千松清美のもと庄内キリスト教会囑託を委嘱する。 京都教区からの要請を受け、京都教区内各教

会において主日礼拝への協力を許可する。(第4主日)(任期1年)

沖繩

主教 ダビデ上原榮正	2021年3月31日付	豊見城聖マルコ教会管理牧師の任を解く。
司祭 クララ咸 允淑	2021年3月31日付	豊見城聖マルコ教会副牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	豊見城聖マルコ教会の牧師を任じる。

《教会・施設》

牛込聖公会聖バルナバ教会(東京)

2020年12月31日付 教会運営を終了。

島田伝道所(横浜)

2021年4月28日付 伝道所設立認可を取消。

* お詫びと訂正

『管区事務所だより』 以下の記載につき、訂正しお詫び申し上げます。

第361号2頁 神戸: 聖職按手式 4行目 (誤) 瀬山会浩→(正) 瀬山会治

第362号6頁 人事

上から4行目中部: 司祭伊藤幸雄(退) (誤) 2020年→(正) 2021年

上から7行目 司祭島田公博 (誤) 2021年3月1日付→(正) 2021年3月31日付

第362号7頁 人事

上から6行目神戸: 瀬山司祭のお名前 (誤) 瀬山会浩(正)→瀬山会治

下から8行目九州: 壹岐司祭のお名前 (誤) 壺岐裕志(正)→壹岐裕志

第362号16頁 本文2行目 (誤) 1985年(正)→1859年

第65(定期)総会を反映した最新の情報を満載!!

日本聖公会要覧

2019~2020

日本聖公会要覧
2019~2020

B5判
150頁

- 定期総会毎発行、日本聖公会における重要なデータベース
- 新たに歴代総会主教のポートレート・教役者逝去記念日を掲載
- 世界の聖公会(The Anglican Communion)の情報・花実
- 全国の教会・伝道所、前後継指図情報を網羅

1冊1,000円(税込・送料別)

お求めは氏名、住所、電話番号、冊数をご明記の上管区事務所まで
FAX:03-5228-3175 Email:province@nskk.org

日本聖公会管区事務所
2021年1月

出版物案内

- 『日本聖公会法憲法規』(2021年第66総会改訂版) 2021年4月4日発行(4月初旬入荷予定)

頒価 600円(税込)

特別記事**最近のカルトの動向について****—コロナ禍における注意点—**

管区事務所宣教主事 司祭 卓 志雄

コロナによって変わった教会の現在

2020年年初から始まった新型コロナウイルス感染拡大の影響によって未だにわたしたちの生活は多くの影響を受けている。そして教会共同体の生活や個人の信仰生活の様相もまた大きく変わったのである。現在管区事務所配信している「COVID-19（新型コロナウイルス）関連の各教区対応情報」をご覧くださいと、各教区の礼拝（公祷）の公開または公開休止の状況がわかる。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため未だ礼拝（公祷）の公開を休止している教区・教会もあり、礼拝（公祷）を行っていても礼拝出席の人数を制限し、礼拝後の食事を中止にしている教会もある。またバザー、コンサート、聖書研究会などの教会行事においても新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために様々な対応を行なっている。その対応の一つとして各種会議や打ち合わせがオンラインで行なわれている。

各種会議や打ち合わせがオンラインで行なわれているため、新型コロナウイルス感染拡大防止、交通費の削減、時空間活用の効率などの利点がある反面、会議の空気感がつかみにくいことや非対面コミュニケーションの物足りなさや常には課題として残る。また教会共同体は今まで「対面」という側面が礼拝、宣教、交わり、教育などにおいて大きな基本前提であったため、コロナ禍の今、そしてポストコロナにおける教会のあり方は問われている。

コロナ禍における教会では、今まで大事にしてきた礼拝、宣教、交わり、教育などをどのように維持していき、今後どのように教会共同体の営みを進めていくのが課題である。ここでコロナ禍において注意しなければならない信仰生活、

特に姿を変えて教会及び信徒一人ひとりに接近してくるカルトの動向について紹介させていただき、その対策について皆さんと共に分かち合いたい。

コロナによって変わったカルトの現在**— 対面の限界 —**

カルト団体においても新型コロナウイルス感染拡大は致命的である。日本でも活発な活動を行ない、性的暴行事件を起こして10年間服役した教祖が仕切っている「摂理（キリスト教福音宣教会）」は2020年2月29日、清瀬けやきホール（東京都清瀬市）で演劇公演『愛と平和だ』を上演する予定であった。東京都清瀬市は周辺に多くのキリスト教会が存在し、当初正統派の教会側は地域に対して警戒を促す活動をしたが、結局新型コロナウイルス感染拡大によって中止となった。

また「管区事務所だより」2020年5月号でも紹介した「新天地（新天地イエス教証拠幕屋聖殿）」は記憶に新しい。1年前に隣国である韓国においても新型コロナウイルスの影響により様々な問題が発生したが、日本でも話題になった「宗教リーダーの土下座」報道があった。日本では「キリスト教新天地」「新天地イエス教」などと報道されている「新天地」というカルト団体が、新型コロナウイルス感染拡大状況の中でも活動を続け、2020年3月初旬の韓国国内の新型コロナウイルス感染者の7割以上が新天地から発生した事実を思い出していただきたい。

新天地は日本においても全国各地で活動しているが、東京では早稲田大学の学生を勧誘する目的で実態を隠した偽装センター（通称「アカデ

ミー)が新宿区早稲田鶴巻町に存在していた。しかし対面活動による信徒の勧誘やマスコミの報道によるネガティブなイメージが原因であろうか、現在、早稲田鶴巻町の某ビルから完全に撤退した。公共料金を滞納していたようで督促状がポストに入りきらず床に散乱する始末である。

彼らは新しい拠点に移動して偽装センターの運営だけにとどまらず、地域住民をターゲットに新しいスタイルで宣教をはじめようとする動きが確認できるとカルト専門家は明らかにしている。そして現在はオンライン上の活動に切り替え、偽装セミナーで集めた若者に「聖書を通じた心理学」「パーソナル診断」などと宣伝をしながら聖書講義を行なっているのが日本人の若者がかなりの数、新天地の講義に参加していると思われる。カルト対策専門機関である「異端・カルト110番」は指摘している。

オンラインを用いた勧誘

去年から各教会にはオンライン聖書セミナーに関する手紙が増えている。その中の一つを紹介しよう。世界94カ国を対象にしてオンライン聖書セミナーを開催するという手紙が司牧している教会に届いたことがある。主催者は「韓国キリスト教連合(KCA)」。案内状には「韓国キリスト教連合」「グッドニュース宣教会」と書かれ、中には「IYF国際青少年連合」「CLF(Christian Leaders Fellowship)」の団体名も確認された。これらは全部、韓国主要キリスト教団で1985年から異端、カルト集団と認定している「救援派」のグループの分派である。「グッドニュース宣教会」は日本の各地の教育委員会の後援により「地域住民との文化交流」という名目でクリスマスコンサートや映画上映会も行なったことがある。

日本基督教団、カトリック中央協議会、日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本バプテスト連盟、在日大韓基督教会など超教派で構成されている「カルト問題キリスト教連絡会」も、前述した「新天地」と共に「IYF国際青少年連合」「CLF(Christian Leaders Fellowship)」を「各

教派の相談会で最近増えつつある統一協会以外のキリスト教系団体」として取り上げて、日本で大きな国際フェスティバルを催すなど、国際交流という建前で宣教活動を強めていることに対して注意を喚起している。

彼らは既存の教会の牧師、リーダーを救援派側の教えに改心させようと、福音的に見える教理、プログラムをPRしてセミナーに誘っている。新型コロナウイルスの影響によって教会が閉鎖(礼拝の休止)する中、グッドニュース宣教会は既成教会の牧師宛に「ZOOM会議」「ZOOM聖書勉強会」のグループ参加を呼びかけるメール配信を行なっている。またYouTubeを駆使したオンライン聖書セミナーも案内している。

そして多くのカルトは街中で声をかけて勧誘する方法からSNS、無料アプリを通じた勧誘に形を変えている。最初は異文化コミュニケーションアプリといった「交流型」や、異性との交流できる「マッチング」「出会い系」アプリに信者が登録して自分に興味を持つ相手からの連絡を待ち、無料掲示板にイベント情報を投稿する。相手が得られた場合は「外国語を勉強したくて交流型アプリで相手を探しました。実際に都内で会いましょう」と伝えて仲良くなって、1対1で会うチャンスを作り「心理学に興味はないか?」「心理テストを受けてみない?」「良いところがある」と誘い、自分たちの施設に連れていき一緒に聖書勉強を行なうケースもある。今は新型コロナウイルス感染拡大によってオンラインで関係を維持していき将来的には忠実な信徒を作っていくことを狙っている。

現在教会・学校に集まることできない、集まっても制限された環境の中で礼拝を行ない、「密」な交わりができない状況であるので、「共に」や「つながり」に対する乾きが続いている。従ってオンラインを通して礼拝を献げる場合もあり、講演会やセミナーに参加することもある。またオンラインを通じた交流会にも参加する場合もあるだろう。もちろん聖公会や健全な団体、教派が主催するものであれば問題ないが、近づ

いてくるカルトに対する警戒が必要である。少しでも怪しいと思われる場合は、必ず管区事務所あるいは教会の牧師、施設のチャプレンを通して確認していただきたい。またこのような時期であってもわたしたちの信仰生活の中心はそれぞれが属している教会であることを忘れてならない。

別れと出発の時期におけるカルトの誘惑

4月になると新しい生活が始まる。各信徒の家庭においても新しい生活、特に大学生になってキャンパス生活を迎える若者の多い時期でもある。新入生にとってはコロナ対策によって大学に行けない場合も少なくなく、SNSを使って他学生とつながることがとても重要な意味を持っている。授業も交際もオンライン上で行なわれている

からだ。2021年度の新入生の、少しでも早く同級生とつながりを持ちたいという気持ちを利用するカルトも増えている。

2020年東京都のC大学では「4月が近づき、SNS上では『#春からC(大学名)』『#春からC大』などのハッシュタグ(SNSなどで使う記号。ハッシュタグは同じようなタグ付きメッセージを収集することができ、それが存在する全メッセージの電子的検索もできる。)を用いた、新入生向けの投稿が増え始めています。中には本学とは無関係の団体が『C大学』を名乗り、『新入生の交流』『新入生の歓迎』を名目に会費を集めてイベント実施を予定しているものもあります。」との警告文を出した。



日本の福音宣教のためにご苦労される牧者皆様へ

拝啓 清らかな香り満う梅花の候、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は、ここ東京で教会をしています 徐印収と申します。

私が、このように一度もお会いした事もない牧師様に手紙を書くようになりました理由は、この終末の時に思いをお持たの牧師の皆様にお会いして、互いに御言葉の中で交流し、一つとなって、創造主神様を知らず、希望なく生きていく多くの日本人を神様に導き、人生の希望を吹き込んで差し上げよう！という一念からでした。また、日本に来てから2年が過ぎた今、「日本、必ずできる！神様が助けて下さる！」という確信があったからです。

私は、18年の間、韓国で教派を超越して、数千人に聖書を教えました。その後、アメリカ人の教員の招待を受け、アメリカのテキサス州に渡り、そこで1年間、多数の教会の牧者の方々、他の宗教の指導者の方々を無神論者のグループなど、様々な所で聖書の招請講演をしました。そのようにして2年前に来日し、今まで教会をしています。東京でも教派の垣根を越えて、多くの人々が毎月、オンラインでの聖書の講義を聴いて神様に届けて来ています。全世界的にキリスト教の衰退期と言われるこの時代に、さらにはキリスト教の不毛地とも言えるこの日本で、毎月、多くの人々が教派と宗教を超越して、聖書を知ろうと押し寄せて来るような事は、今まで日本のどこでも見る事のできなかった驚くべき現象であり、これは、この終わりの時の神様の働きであり、能力だとは説明する方法がないと思います。

これは、私を誇ろうとするのではなく、また私が優れているという事でもなく、ほかの人に見せられるものが一つもない者を通して働かれる神様、お一人を誇ろうとするものです。そして、このように神様の道具となり、国と宗教と人種の壁を越えて聖書を教えるようになった事は、上が遣わして下さった一人の牧者に会わなかったならば不可能な事でした。私は、そのイエス様の代言

の牧者を通して、初めて聖書をわかるようになりました。そして、神様の御心と目的をわかるようになりました。数十回読んでも悔れなかった、神様が成し遂げられるという新約の四福音書の預言と黙示録の預言を信じるようになりました。そして、イエス様と多くの預言の使徒たちが歩まれた苦難と迫害の十字架の道も、恐れなく進む事ができるようになりました。

私は、私の祖国、韓国を愛するほどに、日本も愛しています。日本もまた、私の祖国だからです。そして、人として耐える事のできなかった残酷な迫害で殉教された数十万人の日本の殉教された方々の殉教の精神を尊敬し(黙6:9-11)、数百年の迫害を耐えて、子々孫々、信仰の節操を守って来た日本人の信仰を尊敬します。そして、その崇高な信仰を継承し、日本で福音の花を咲かせ、殉教した方々の無念の死を慰めて差し上げ(黙18:20)、日本が神様の国に変化される事に(黙11:15)、この一つの命を捧げるという覚悟をもって働いています。

私が差し上げた手紙に返事を下さるならば、新約の四福音書の預言書と黙示録の預言書に現れた神様の御心と目的について、そして、無知な私に神様と聖書と信仰の目を開いて下さったイエス様が遣わして下さいた代言の使者に因りて、御言葉の中で多くの事を分ち合う事ができるのではないかと考えます。

最後まで読んで下さりまして、ありがとうございます。

神様とイエス様の恵みと平安が、牧師様と牧師様の教会にいつも共にあられる事を切実にお祈り致します。

敬具

2021年2月10日 水曜日

東京から神様のしもべ 徐印収



▲今年2月11日以降、国内の諸教会宛に送られてきた「東京から神様のしもべ 徐印収」という発信人名による手紙。発信人は「新天地(正式名称=新天地イエス教証拠(あかしの)幕屋聖殿)の首都圏エリアのトップであるとカルト対策専門機関である「異端・カルト110番」は指摘している。

また2021年東京都のカトリック系列のS大学も「TwitterやLINE、Instagramなどのソーシャルメディアを通じて、S大学新入生向けの交流会(オンライン含む)や各種勧誘などの告知が行われておりますが、これらの企画に本学は一切関知しておりません。また、『#春からS(大学名)』のハッシュタグが付いたアカウントに対し、DM機能を用いての勧誘活動や性的な画像が送付されるなどの事案が報告されています。授業開始までの間、特に新入生の皆さんは個人情報の管理等、十分にご注意ください。#春からS(大学名) = 発信情報が正確とは限りません。」という警告文を出した。大学側は上記のような手法によって「仲良くなった人から宗教の勧誘を受け、断ると態度が豹変した」「ストーリー被害を受けるようになった」「絶対に儲かると投資に誘われ、借金を背負ってしまった」などの、カルトや悪質商法の被害を受ける可能性がある、主催者不明の新入生向け勧誘活動には注意するように促している。



▲中国大陸発祥のカルトである「全能神教会」のYouTube聖書研究。FacebookなどのSNSを通して利用者にする。

上記のような場合にもわたしたちの子どもを守るためには、必ず管区事務所あるいは教会の牧師、施設のチャプレンを通して相談していただきたい。

終わりに

新型コロナウイルス感染拡大によって社会活動だけではなく、宗教の営みの形も変わっている。またカルト団体の活動様相も変化している。また新型コロナウイルス感染拡大によって生じる社会的不安を利用して今までよりカルトの活動が強まることが予想されている。苦難は一つのターニングポイントであると言える。新たな時代に向かっていくプロセスであるから宗教は、特に日本聖公会は新しい知恵が求められるだろう。わたしたちは「新しい日常」を前提として、今の変化に対応し、今後の変化を予測しながら新たな宣教のビジョンを宣べ伝えることを疎かにしてはならない。

◀各教会に送られてくるカルト団体からのチラシの一例

新型コロナウイルスに勝ち抜くために、また、新型コロナウイルスと戦っている皆様へ、心に力と安らぎを与える神様のお言葉と心なげでも心と心がつながりほほえみになり、神様の心を神様とつながりあけるインターネット聖書セミナーに皆様をご招待します。

GOODNEWS MISSION
www.goodnews.or.jp

参加無料

インターネット 聖書セミナー

4月18日(土)
夜7:30から
キム・ハクチョル牧師(タイ・バンコク)

4月24日(金)~25日(土)
早朝5:30から、夜7:30から
チョ・ギョンウォン牧師(南アフリカ・ヨハネスブルグ)

5月4日(月)~6日(水)
午前10:30から、夜7:30から
パク・ヨンチョル牧師(ロシア・サントペテルブルク)

*ZOOM (URL: <https://zoom.us/j/5063077373>)

*インターネットブラウザ招待URLをそのまま入力しても参加できます。

*このQRコードからでもセミナーに参加できます。

*操作方法と手順(PC・携帯)

- 1) App StoreまたはGoogle PlayからZOOMアプリをダウンロードしてください。
- 2) 「ミーティングに参加」を押してください。
- 3) IDを入力してください。【ID: 5063077373】
- 4) 「参加」を押してください。
- 5) パスワードを入力してください【0000】
- 6) 「ミーティングに参加」を押してセミナーに参加できます。





お問い合わせ: 06-5566-5441 | 03-5424-3857

世界の聖公会の動向

- ☆ カンタベリー大主教が、ナイジェリア聖公会の首座主教を非難
- ☆ 気候変動への対応には、科学と信仰のパートナーシップが不可欠
- ☆ ジェンダー正義は ACO における優先事項として継続される

管区渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

○カンタベリー大主教が、ナイジェリア聖公会の首座主教を非難

カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師は、ナイジェリア聖公会の首座主教が同性愛者を表現する際に用いた言葉を「看過できない」と非難した。

カンタベリー大主教による声明は、ヘンリー・ンドゥクバ大主教が「同性愛という致命的な『ウイルス』」という2月26日金曜日付の公開書簡に応えて発表された。

ヘンリー大主教の書簡では「(同性愛は) パン生地全体に影響を与えることがないよう、早急かつ徹底的に排除すべきイースト酵母に例えられる」、「世俗化されている政府は、グローバルな同性愛文化のための積極的なキャンペーンを採用している」と述べられている。

ジャスティン大主教は自身の声明の中で次のように述べた。「この言葉には全く反対ですし、非難します。受け入れられません。この書簡は対象とされた人たちの存在を否定しています。」

「私は大主教に個人的に手紙を書き、このような表現がアングリカン・コミュニオンの合意(1998年ランベス会議の決議I.10で最も明確に表現されています)と相容れないことを明確に示しました。この決議は、キリスト教の結婚に対する伝統的な考え方を再確認するとともに、同性愛嫌悪の言動を明確に非難しています。『性的指向にかかわらず、洗礼を受け、信仰を持ち、忠実な人はすべて、キリストの体の完全なメンバーである』と断言されています。」

続けてジャスティン大主教は「アングリカン・コミュニオンは、多くの違いと多くの困難を乗り越えて一緒に歩こうと努めています。私はすべてのクリスチャンに対し、経済的困難、テロ攻撃、宗教に基づく暴力と不安に直面しているナイジェリアの人々と教会のために、私と一緒に祈り続けてくださるようお願いしています。」と述べた。

○気候変動への対応には、科学と信仰のパートナーシップが不可欠

カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー師は、国際的な宗教指導者の会合の場で、気候危機との戦いにおいて、科学と信仰の結びつきから恩恵を受けるだろうと語った。師は、今年後半にグラスゴーで開催予定の国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)に先立って行なわれた一連のオンライン・ミーティングの最初の会合でコメントを発表した。ジャスティン大主教は、「科学と信仰の関係は、持続的で大きな変化をもたらす非常に現実的で強力な道を示しています。私たちのグローバルな活動、地域社会への貢献、そして希望が、科学的な知識や専門性と結びつくことで、強力な同盟関係を築くことができるのです。」と述べた。

彼は、ジョー・バイデン米大統領がアメリカのパリ協定への参加を再開する決定をしたことを歓迎し、次のように述べた。「私は一人のキリスト者として発言します。イエスは私たちに、神を愛し、隣人を愛すること以上に大きな戒めはないと教えています。現代のキリスト者としてこれらの

戒めを守ることは、すなわち気候変動とそれに伴う環境危機への挑戦に一步を踏み出すことにつながります。」

また、「Green Anglicans(グリーン・アングリカン)、アングリカン・コミュニオン環境ネットワーク(ACEN)、エコ・ビショップス・グループ、国連におけるアングリカン・コミュニオンの存在、アングリカン・アライアンスの活動など、世界中のアングリカン・コミュニオン内の活動に身の引き締まる思いがします。信仰共同体として、希望と愛を宣べ伝える者として、この価値ある世界に神の正義と平和を呼びかけるために、共に立ち上がることができますように。今こそ行動を起こす時です。」と祈りを込めて語りかけた。

○ジェンダー正義は ACO における優先事項として継続される

アングリカン・コミュニオン常任委員会のこのほどの報告によると、世界の聖公会がジェンダー正義のために戦うことを促進し、リソースを提供するための活動は、少なくとも2023年に開催される予定の全聖公会中央協議会(ACC-18)の次回会合まで、再編されたアングリカン・コミュニオン事務局(ACO)で継続されるとのことである。

ACCはジェンダー正義を提唱することの重要性を何年も前から認識しており、世界の聖公会はジェンダーに基づく暴力に反対することを含め、ジェンダー正義のための戦いにおいて重要なキャンペーンを展開してきた。この活動は、アングリカン・コミュニオンの5つの使命のうち、「社会の不正な構造を変革し、あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追求する」という第4番目の使命の一部であるとして大多数の賛同を得ている。

国連女性機関(UN Women)の統計によると、

世界の女性の3人に1人(一部の国では70%にも上る)が一生のうちにジェンダーに基づく暴力を受けるとされており、ジェンダー正義を訴えることの重要性が叫ばれている。クリスチャンも例外ではなく、被害者も加害者も聖公会の教会内に存在するとACOは述べている。

ジェンダー正義のプロジェクト・ディレクターに就任したマンディ・マーシャル氏は、「悲しむことに、教会はこれらの問題への取り組みが遅れています」と述べる。「聖職者の妻を含む女性クリスチャンのサバイバーは、教会の働きのためにしばしば無視されたり、横やりが入ったり、黙っているように言われたりすることが多いのです。ジェンダーの不平等や不正義は、不公平な力関係だったり、権力の誤用や乱用が原因であり、またその結果でもあります。教会内では、聖職者に大きな敬意が払われていることが多く、権力の地位を乱用している可能性のある聖職者や主教に対していまだに異議を唱えることができなかつたり、躊躇したりしています。このような教会内のカルチャーに挑戦し、変えていく必要があります。」

アングリカン・コミュニオンの総主事であるジョサイア・イドゥ=フェアロン博士は、この動きを歓迎して次のように述べた。「イエスとその教えと模範において女性を画期的に包摂してから2000年が経過した今でも、多くの場所で女性は態度と実践の両方においていまだ不平等な立場です。ジェンダーに起因する暴力を減らし、女性も男性も、神が創られたとおりに繁栄し、すべてを実現できるようにするために、コミュニオン全体で、そして教会からより広い世界に向けて、態度、行動、教会文化を変えることで、私たちは生活をより良いものにすることができます。」

新型コロナウイルス（COVID-19）に関連する 各教区の対応

北海道教区 礼拝（公禱）の休止なし

- ・教会での礼拝は主日・週日いずれも定時に行かない、誰でも参加可能。
- ・礼拝に関して不安や恐れがある信徒は自宅で礼拝を守ってもよい。

東北教区 礼拝（公禱）の再開

- ・主日礼拝等については、2020/6/7より再開。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。
- ・磯山聖ヨハネ教会については教会での礼拝は避け「祈りの庭」で実施模索。新地町感染0人で地元の状況に協力（地域特殊事情）。

北関東教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・各教会・礼拝堂で協議し、地域社会と共同体の状況により適切な対応を講じる。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

東京教区 礼拝（公禱）は再休止中

- ・礼拝について、公開での礼拝は2020/12/27以降休止中。
- ・葬儀および礼拝堂の公開などは、感染防止の対策の上、それぞれの教会・礼拝堂の状況にあわせて、実施可能。
- ・インターネットによる礼拝等の配信をおこなっている教会がある。

横浜教区 礼拝（公禱）の公開または公開 休止

- ・「礼拝指針」の徹底。
- ・在籍外の教会、また教区を越えての礼拝出席は控える。
- ・東京都に隣接する神奈川県および千葉県に在住で健康に不安のある人は公共交通機関を利用しての来教を控える。
- ・ウイルス感染再拡大への対応として、それぞれの教会または地域の感染状況により、各教会で礼拝の公開休止の判断をする。

中部教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・主日及び週日の礼拝再開、休止については『礼拝再開に関するガイドライン』に基づき

各教会で判断。

- ・緊急事態宣言下のエリアにある教会は原則礼拝等休止。

京都教区 礼拝（公禱）休止の教会が多く なっている

- ・各教会で判断。緊急事態宣言が解除され、主日礼拝再開の教会もあるが、引き続き感染防止策を継続して行なう。

大阪教区 礼拝（公禱）の再開または休止

- ・引き続き2021/2/14から3/7までの礼拝を休止することを認める。
- ・特に、高齢者や体に不安を抱える方には自宅での祈りの時を持つことを強く勧める。
- ・最終的には各教会の判断を尊重する。

神戸教区 礼拝（公禱）の再開

- ・教区内の教会・伝道所は聖餐式（一種陪餐または前部、み言葉の礼拝）を行なっている。
- ・緊急事態宣言解除後は自粛していた教会も礼拝を再開。

九州教区 礼拝（公禱）の一部休止

- ・無理に主日礼拝に来ることをお勧めしない（体調の悪い方・公共の交通機関で教会に来られる方など）。

沖縄教区 礼拝（公禱）の再開

- ・2021/3/7より主日礼拝を再開

管区事務所

- ・2020/11/25よりしばらくの間、就業時間の短縮と隔日出勤（平日 月・水・金は10:00-16:30で出勤、火・木は在宅勤務）。
- ・在宅勤務でもメールの送受信は可能。緊急の場合は管区事務所総主事の司祭 矢萩新一まで。

(2021年3月19日現在)

神学校のために祈る主日
Day of Prayer for the Seminaries

2021年
4/25
(復活節第4主日)
日本聖公会

『聖公会手帳』2022年度版発行に当たってのお願い

『聖公会手帳』では巻末の特集欄で、日本聖公会が幅広く関わる学術・教育・文化・医療・福祉などの諸分野にわたる社会的活動を〈事業紹介〉として掲載してまいりました(『聖公会手帳2021』382～409頁を参照)。現在編集中の2022年度版『聖公会手帳』では、この〈事業紹介〉の趣旨に

賛同し出稿していただける事業所を新たに募集しております。記事掲載の申し込み・詳細等について管区事務所にお問い合わせください。2021年7月15日までにお願いいたします。

☎03-5228-3171 (総務主事または広報主事宛て)

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。